

【相模野小学校 コミュニティスクール 新聞 2号】

令和5年12月 相模野小学校 学校運営協議会委員

～いつおこるかわからない地震災害について考えてみましょう～

学校運営協議会の話し合いで出た内容

- ・防災に関する子供の学び⇒保護者へ⇒地域へ とひろげ、情報の共有が必要
- ・いつとき集合場所・いつとき避難場所・避難所それぞれの意味や集まるタイミングを知ることが必要
- ・市の総合防災訓練にもっと児童が参加しやすい雰囲気があるとよい
- ・学校と地域が協力して防災訓練できるように休日だけでなく平日の訓練想定も必要
- ・各家庭で家具等の転倒防止策はとられているか
- ・地域で避難訓練しても親や児童の集まりが良くない
- ・万が一に備え避難の仕方を身につけておくことが大事

各家庭では (大地震があった時のために)

- ・いつとき集合場所・・・安否確認の場所
- ・いつとき避難場所・・・生命・身体の安全を確保できる場所
- ・避難所・・・自宅で生活が出来ない状況の時寝泊りする場所

それぞれの場所を確認しておこう

学校から

- ・冬休みの宿題で自分の家の防災マニュアルを家庭で話し合い、作ります
- 家族みんなで地震火災に備える意識を**

通学途中で地震にあった場合

- ・建物、へい、電柱、電線から離れて
シェイクアウト(安全確保行動)
- まず低く・頭を守り・動かない！**

伝言ダイヤルの練習をしよう

録音・・・171⇒1⇒電話番号

再生・・・171⇒2⇒電話番号

- 1 自分の名前
- 2 どこにいる
- 3 だれといる
- 4 どんなようす
- 5 このあとどうする



消防士と消防団員のちがいを知っていますか

(答えはさかさにして見てね)

消防団員は普段は別の仕事をし、災害の時は防災活動をする人

消防士は消防署に勤務して消防や救急・救助を仕事とする人